



バラタナティヤムとは、紀元前より南インドのヒンドウ教寺院で踊られていたインド最古の古典舞踊。巫女が神への捧げ物として踊っていた奉納舞踊が原型で、素足で踏む力強いステップは、グングル(足首につけた鈴)の音とともに正確なリズムを刻む。
流麗な指の動きは物語を語り、豊かな顔の表情は微妙な心の内面を映し出す。



〜南インド古典舞踊バラタナティヤム〜

魅惑のインド舞踊

出演:インド舞踊家 松下 陽子

& 中央公民館「インド舞踊入門」講座修了生

2007年 7月14日(土)

午後6時30分〜8時
(午後6時開場)

入場無料(整理券必要)

※6月20日(水)より中央公民館事務室にて整理券を発行します

